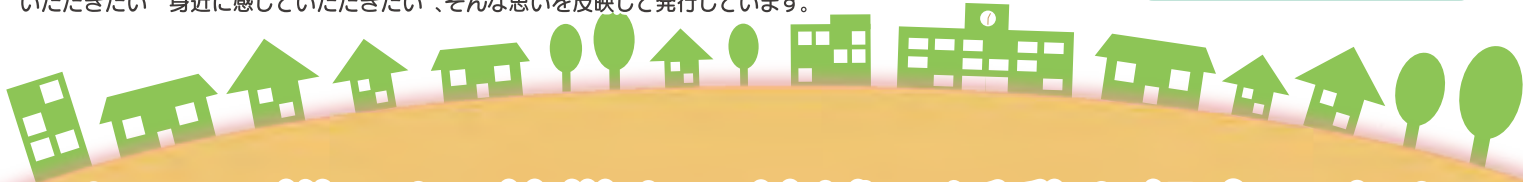


# コミュニティ通信

## 第19号

平成26年4月1日発行

コミュニティ通信は、地域の様々な取り組みを紹介し、皆様に“コミュニティや地域活動にもっと興味を持っていただきたい”“身近に感じていただきたい”、そんな思いを反映して発行しています。



### 今号は 様々な、特徴ある地域の活動を紹介します

西区  
金武  
校区

## 通学合宿 ~金武の子は金武の宝~

金武校区では、家庭、学校、地域の共育(ともいく)に取り組んでいます。

開館式  
(みんなで記念写真)



レクで仲間づくり



サラダづくりにチャレンジ

詳しくは次のページへ

今号の地域の情報 西区:金武校区/早良区:飯倉校区/東区:箱崎校区/博多区:板付北校区  
南区:西長住校区/中央区:草ヶ江校区/城南区:田島校区



# 通学合宿 ～金武の子は金武の宝～

金武校区人尊協では、「金武の子は金武の宝」の考えのもと四つの目標（「通学合宿」「あいさつで子育て」「団  
体で子育て」「地域・集落で子育て」）を掲げて、家庭、学校、地域の共育（ともい）に取り組んでいます。

その取り組みのひとつが通学合宿です。子どもたちが、親の手を離れたところで自分たちで考え、自分たちで  
行動することを学ぶ合宿です。

金武小学校の3～6年生25人が、9月16日（月・祝）～19日（木）の3泊4日で金武公民  
館に寝泊まりし、学校へ通学、食事の用意、勉強、もらい湯など、初めての体験でした。

公民館、人尊協、自治協議会を中心に実行委員会を組織して、ボランティアの学生7名  
を含む地域の方々、延べ100名の温かい支援を受け一定の成果をあげることができ、  
「絆」のある金武の町づくりにつながったのではと喜んでいます。

参加した子ども達からは、「学生ボランティアさんから将来の夢を聞いて感動した」  
「金武の町が一番好きになった」「もらい湯がわかった」「金武のやさしさが肌で感じるこ  
とができた」など、また、保護者からは「子ども達にい  
ろいろな気づきがあり金武の「共育」を実感した」「不  
登校の子どもが参加し、その後時々ですが、登校する  
ようになった」などの感想をいただきました。

来年の参加者が増えすぎるのでは？と今から悩ん  
でいる地域の皆さんには笑顔がありました。



バーベキュー



レクリエーション



カレーづくり



# 子ども育成団体の再編 ～子ども会を全員加入に～

飯倉校区では、子どもの育成に関する組織「育みネットワーク」の中に、青少年育成会、子ども会育成連合会、  
わくわくランド委員会、子育てサロンの4団体がそれぞれ独立した特色ある活動を行っています。

しかし、行事・活動の重複による無駄や、各団体の役員や協力される保護者、町内の方々の負担が増加するな  
ど、各団体の連携がとれていないことによる弊害が顕在化してきました。また、共働き世帯の増加・少子化等  
により、校区の子ども会参加者が減少し、子ども会の加入率が40%を割る町内も出てくるようになりました。

このような様々な地域の課題の改善を図るため、平成22年から、「育みネットワーク」に町内有志を交えて話  
し合いを続け、平成24年12月からは、子どもに関する新組織の発足を目指して、「育みネットワーク」4団体、自  
治協、町内会長、各町内子ども会役員、小学校PTA、公民館、校区子ども育成調査アドバイザーで「組織改善検  
討委員会」を立ち上げ検討を重ねてきました。そしてその結果として、来年度から4団体を一つにまとめ、行事  
内容を一元化し、新組織「飯倉校区子ども部会」をスタートさせることが決まりました。

新組織は、時代に合った方法で飯倉校区の子ども達の健全な育成を願い、小・中学校、関連する諸団体・公民  
館と連携して各種の事業を行い、子ども達の主体的活動を支援することになります。

そして、最も大きな変更点は、平成26年度からは、各町内の「子ども会」は任意加入から全員加入に変更とな  
り、校区内の子どもは漏れなく会員となり、町内会の活動や校区行事に安心して参加できるようになります。



里まち探検



組織改善検討委員会



高学年キャンプ



# 伝統文化を次の世代につなごう

箱崎伝統文化保存会（以下「保存会」）は、箱崎の地に残る伝統行事・文化を住民自らの手で次の世代に継承  
していくため平成14年に設立され、現在、自治協議会の構成団体として活動しています。

保存会は、平成14年に「箱崎わか倶楽部」、平成16年に「箱崎太鼓組」を組織、平成17年には子どもたちが  
参加する筥崎宮でのお籠り「乙子様（おとごさま）」を復活、平成22年には「箱崎校区節分祭」を創設しました。  
箱崎小学校では、毎年11月23日に「箱崎伝統文化公演会」を行っています。

保存会の活動により再び盛んになった行事として7月23日・24日に行っている「人形飾り」があります。これ  
は子どもたちの無病息災等を祈願する祭りで、玄関先に人形やお地藏様の石を飾って箱庭「人形飾り」を作り、  
子どもたちが線香を持って地藏堂や各家庭の人形飾りを訪ねてまわります。

保存会の活動は箱崎小学校と連携し、授業の中で人形飾りの人形製作や節  
分祭への参加などが行われています。また、子どもたちは保存会の各事業に  
楽しく参加しており、子どもたちの地域への愛着醸成や健やかな成長にも役  
立っています。

保存会では、今後も活動の広報や後継者づくりを進め、伝統行事・文化の継  
承により箱崎のまちをさらに活性化していきたいと考えています。



人形飾り



# 地域を流れる河川を 自分たちで守っています!

平成22年度に、板付校区の町内会長さんから、板付北校区に、諸岡川の清掃を一緒に実施しないかとの呼び  
かけがあり、板付校区と板付北校区と一緒に、毎年2回、手分けして、河川敷  
の除草やゴミ回収等の清掃を行っています。

また、平成24年度からは、那珂古川でも、一緒に清掃を始めました。

このような取り組みにより、以前は自転車や建設機材などの不法投棄も  
ありましたが、現在は、不法投棄も減少し、ゴミが少ない、きれいな川になり  
つつあります。今後もきれいな「川」、そして「まち」となるよう一致団結して  
活動を続けていきます。



平成25年度 諸岡川の清掃等の活動風景



# 三世代交流事業 「アーリーモーニング・ハイク」

毎年9月の日曜日、朝5時30分に子どもから高齢者まで100人を超える参加者が公民館近くの集合場所に集  
まってきます。6時にスタートして、「油山観音」折り返しの往復10キロの行程を3時間かけて歩きます。参加者同  
士が会話を交わしながら、野鳥のさえずりに耳を傾けたり、日頃見慣れた風景の中に新しい発見をしたりして楽  
しく歩きます。途中の夫婦石浄水場で「ラジオ体操」を、折り返し地点の「油山観音」ではレクリエーションを行  
います。そして、ゴールインした後、公民館で温かいおにぎりと豚汁の朝食をみ  
んなでいただきます。毎回、気持ちのよい交流会となっています。

公民館事業として平成8年から始まったこの事業は、17年からは自治協  
議会が各種団体の協力を得て実施することとなり、今年で19回目となり  
ます。誰でも参加でき、地域のみんなが仲よくなれるこの事業、これからも新し  
い企画を取り入れながら、いつまでも続けていきたいと思っています。



みんな揃って、さあ出発!



## ついに完成!草ヶ江“笑顔”音頭♪



草ヶ江校区自治協議会は、今年度校区独自の音頭「草ヶ江“笑顔”音頭」を制作しました!

草ヶ江校区独自の音頭としては、昭和30年に当時の公民館長が歌詞を募集して制作を試みたものの、応募者が少なく一度断念していましたが、平成24年に草ヶ江校区自治協議会として再度制作を企画しました。歌詞を募集したところ、市内外から11編の応募があり、自治協議会と作曲者とで選考し、今回できあがりしました。

歌詞は、草ヶ江の故郷が思い起こされる様に1番から4番にそれぞれ草香江、六本松、谷地区の特徴を取り入れ、各節末に「ワッハッハ」と笑いを取り入れ校区の絆を結ぶ音頭にしたことから、草ヶ江“笑顔”音頭となりました。毎年10月に行われる恒例の「まつり草ヶ江」に間に合うよう歌と踊りを特訓し、昨年10月にお披露目しました。

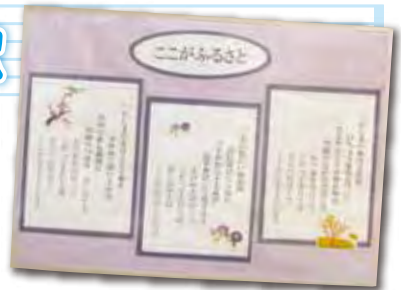


▲まつり草ヶ江で“笑顔”音頭を踊っている様子

校区自治協議会の宮原会長は、「地域の皆さんにも浸透してきつつあり、イベント毎にみんなで踊っています。草ヶ江校区もこの音頭のように笑顔があふれる地域になってほしい」と話しています。



## みんなで作った校区の愛唱歌



田島校区では、公民館が現在の地に移転されてから30年を迎えたことに伴い、その記念事業を行うため校区自治協議会会長を委員長として30周年実行委員会を立ち上げました。そして、記念事業として、式典開催の他に、30周年記念誌「たしま」の発刊、「校区の歌」の制作を行いました。

この歌の制作では、校区の一体感や郷土愛を育むため、地域住民から歌詞を募り、田島校区を取り巻く自然や季節についての言葉などを取り入れた校区の歌「ここがふるさと」ができあがりしました。「あの坂をのぼってくだってまわり道」「夏の賑わい神楽舞」等、校区ならではの歌詞となっています。そして、歌の完成と同時にコーラス隊が結成されました。このコーラス隊は、いつ入ってきてもいい、いつ参加してもいいという自由な会とすることで、小学校1年生から70歳代までの方が参加され、式典をはじめ、いろんな催しで発表しています。

この事業を通じて、地域の中にはいろんな知識を持った人がいることがわかり、地域に埋まっていたみんなの力をつなげることができました。

今後は、校区の歌「ここがふるさと」を各種地域事業など、様々な機会を通じ活用し、心のふるさととして「田島」を思い、老若男女どの世代もが一緒に口ずさめる校区の愛唱歌となることを目指しています。



●福岡市コミュニティ通信は福岡市のホームページに掲載しています。

福岡市コミュニティ通信

検索

●J:COMでは福岡の地域情報を発信しています。

ふくおかまいCOM

検索

お問い合わせ・  
地域の情報などは  
各区役所まで

東 区役所	地域支援課	☎092-645-1041	FAX:092-645-1042
博多区役所	地域支援課	☎092-419-1048	FAX:092-434-0053
中央区役所	地域振興・支援課	☎092-718-1062	FAX:092-714-2141
南 区役所	地域支援課	☎092-559-5072	FAX:092-562-3824
城南区役所	地域支援課	☎092-833-4063	FAX:092-822-2142
早良区役所	地域支援課	☎092-833-4416	FAX:092-851-2680
西 区役所	地域支援課	☎092-895-7036	FAX:092-882-2137

次号(7月1日号)は、「交流」をテーマにお届けいたします!